

第5次瑞穂町地域福祉活動計画の策定に伴うアンケート調査 原紙

社会福祉法人 瑞穂町社会福祉協議会 企画・経営委員会

Q1 あなたの①性別、②年齢層、③所属を教えてください。

① 男・女

② _____ 歳代

③ 地域住民、ボランティア、民生委員・児童委員、福祉関係者、保健医療関係者

その他（ ）

Q2 社会福祉協議会や瑞穂町及び地域包括支援センター等に相談したことや相談しようと思ったこと、もしくは他者から相談された相談ごとをお聞かせください。

Q3 制度では解決できない相談ごとや困難に感じた相談ごとはありますか？

ご自身のことだけではなく、地域内で起きている相談ごともお聞かせください。

Q 4 福祉機関・団体、保健・医療機関などのネットワークづくりや住民同士の支えあい（横のつながりや協力体制）を進めるためには何が必要か、具体的な方法等についてご意見をお聞かせ下さい。

Q 5 あなたが感じている瑞穂町のよいところをお聞かせください。（福祉の領域以外含む）

Q 6 最後に瑞穂町社会福祉協議会に期待することや、その他どんなことでも構いませんのでお気づきのことがあればお聞かせください。（福祉の領域以外含む）

ご協力ありがとうございました

第5次瑞穂町地域福祉活動計画の策定に伴うアンケート調査結果

対象：福祉関係者、保健医療関係者、特別支援学校、学級教員、障がい者相談支援事業所等

① 男（39人）・女（63人） 計 102人

② 20歳代（8人）、30歳代（21人）、40歳代（28人）、50歳代（25人）
60歳代（13人）、70歳代（4人）、不明（3人）

Q2 社会福祉協議会や瑞穂町及び地域包括支援センター等に相談したことや相談しようと思ったこと、もしくは他者から相談された相談ごとをお聞かせください。

- ・制度外のサービスについて・・・11件
- ・介護保険のサービスについて・・・11件
- ・金銭管理や権利擁護及び成年後見について・・・8件
- ・障がい児の療育について・・・7件
- ・障がい者（児）の地域での活動場所について・・・6件
- ・障がい者施設や老人施設への入所が困難・・・6件
- ・生活困窮者支援について・・・4件
- ・認知症のケアについて・・・4件
- ・家族機能不全について・・・4件
- ・支援拒否者への対応について・・・2件
- ・独居高齢者の身の周りの支援（電球の交換、通院等、保証人不在など）・・・2件
- ・障がい福祉サービスについて・・・1件
- ・能力低下後の生活不安について・・・1件
- ・老人会の運営について（大変。役員も高齢化している）・・・1件
- ・ゴミ出しのルールを守らない人がいる・・・1件
- ・介護予防について・・・1件
- ・ボランティア活動への参加について・・・1件
- ・ケアマネージャーと相性が悪い。どうしたらよいか？・・・1件
- ・グループホームの設立について・・・1件
- ・高次脳機能障がい者への支援について・・・1件
- ・救急病院から療養型の病院への転院について・・・1件
- ・引きこもりになった子の相談をしたが社協は18歳からだと言われた・・・1件
- ・一般就労した障がい者へ社協から愛の手帳を返還するよう言われた。一般就労しても愛の手帳の取得は認めてほしい・・・1件

- ・ さくらやあゆみを就学していない15～18歳の障がい児も利用させたい・・・1件
- ・ 介護予防の体操をしたいが、近くでやっていない、情報が得られない・・・1件
- ・ 整形外科が少ない・・・1件
- ・ 障がい者の就労について・・・1件
- ・ 高齢者虐待について・・・1件

Q3 制度では解決できない相談ごとや困難に感じた相談ごとはありますか？

ご自身のことだけではなく、地域内で起きている相談ごともお聞かせください。

- ・ 相談ごとがあってもどこに相談してよいかわからない・・・11件
- ・ 高齢者や障害がい者の安否確認について・・・6件
- ・ 通院のための交通手段がない（タクシーでは負担が大きい等）・・・4件
- ・ 交通の便が悪い・・・4件
- ・ 医療につながらない精神障がい者の支援・・・4件
- ・ 家族や親族の支援拒否及び理解不十分・・・3件
- ・ ゴミ出しなどのちょっとしたボランティアが欲しい・・・3件
- ・ 障害児（中学生、生活困窮でファミサポ不可等）の登下校支援について・・・3件
- ・ 個人情報への漏えいが著しい（近隣との関係が近い）・・・2件
- ・ 外国人との付き合い方について・・・2件
- ・ 高齢や障がいのため役場等の手続きが出来ない・・・2件
- ・ 役場に相談するとたらい回しにされる・・・2件
- ・ 大人の発達障がいへの支援について・・・2件
- ・ 不登校や引きこもり児童へ建設的な支援ができていない・・・2件
- ・ 老々介護への対応・・・2件
- ・ 福祉バス運転手の態度が悪い・・・1件
- ・ 福祉バス、車いすの人の利用が不便・・・1件
- ・ 役場に心配な人がいると相談しても、その後の報告がない・・・1件
- ・ 認知症の服薬管理・・・1件
- ・ 独居者の葬儀について・・・1件
- ・ 毎日の服薬管理ができない・・・1件
- ・ 生活保護受給者の通院介助・・・1件
- ・ 視覚障がい者や聴覚障がい者の方の緊急時対応（情報伝達など）・・・1件
- ・ 社協の貸付、生活保護を受けられない人の対応・・・1件
- ・ 収入があるが、借金もある人の相談・・・1件
- ・ 老若介護への対応（年老いた親と引きこもりの子）・・・1件
- ・ 障がい者に対応できるヘルパーの人材不足・・・1件

- ・障がい者への地域理解、支援の促進・・・1件
- ・嫁姑の問題といった家庭内トラブル・・・1件
- ・子供の養育不良などがある家庭への介入困難・・・1件
- ・障がい者総合支援法から介護保険に切り替わり経済的に苦しくなり、サービスが利用できなくなった・・・1件
- ・障がい福祉サービスと介護保険の違いが説明できない・・・1件
- ・困難ケースと判断する基準を知りたい・・・1件
- ・要援護者台帳において一人暮らし高齢者は申請がなく登録されない。高齢者と障がい者の同居世帯でも同様。役場や民生委員も把握できず、狭間に陥ってしまう・・・1件
- ・持ち金がまったくない人が福祉事務所につながるまでの間の金銭支援・・・1件
- ・障がい者資源が少ない。支援学校卒業後の進路が町外になってしまう・・・1件
- ・アルコール依存の妻を一人で抱え込んでいる夫・・・1件

Q 4 福祉機関・団体、保健・医療機関などのネットワークづくりや住民同士の支えあい（横のつながりや協力体制）を進めるためには何が必要か、具体的な方法等についてご意見をお聞かせ下さい。

- ・それぞれの機関の定期的な集まり、住民も含めた顔の見える関係づくり・・・33件
- ・ボランティアの増加、ボラセンの機能強化（専任職員を設置等）・・・5件
- ・町内会の活性化・・・4件
- ・行政主導型でない住民主体のネットワーク体制づくり・・・3件
- ・小地域化すべき・・・2件
- ・転入者を排除しない、新住民と旧住民の良好な関係づくり・・・2件
- ・可能な限り個人情報公開すること・・・2件
- ・縦割り打破・・・2件
- ・イベントの共有・・・1件
- ・関係者の専門性の向上・・・1件
- ・関係機関が町の行事などにも出向き、住民の生の声を聴くこと・・・1件
- ・ケアマネージャーの質の向上、バックアップ、報酬アップ・・・1件
- ・包括支援センターを中学校区に1カ所設置して欲しい・・・1件
- ・地域ケア会議に民生、近隣住民、駐在さんも介入してくれるとよい・・・1件
- ・福祉ふれあいまつりの充実（委員同士の交流）・・・1件
- ・相談機関に相談しても、その後の報告がない・・・1件
- ・町と社協が協力して支援者に優先順位をつけ必要な機関に情報交換をする・・・1件
- ・SNS（電子掲示板等）を利用した新たなコミュニティーの構築・・・1件
- ・関係機関を統括する機関を設ける・・・1件

- ・満たせていないニーズを洗い出し、それぞれの専門班を設置する・・・1件
- ・民生委員が主体となった訪問活動を行う・・・1件
- ・わかりやすい情報発信・・・1件
- ・町内の施設見学会・・・1件
- ・災害時要援護者台帳を活用した支援会議の開催・・・1件
- ・役場は少人数のケースでも支援をしてほしい・・・1件
- ・サロン活動の普及・・・1件
- ・生活支援コーディネーターの設置・・・1件
- ・町内会役員OBが中心になってネットワークを作る仕組みづくり・・・1件
- ・地域ケアシステムの有効活用・・・1件
- ・連携した支援ができるように利用者が既往歴などを記した手帳を持つ・・・1件
- ・社協の活動が重要。住民の意識を深めるのは社協によるところが大きい・・・1件
- ・医療と福祉の連携強化・・・1件

Q5 あなたが感じている瑞穂町のよいところをお聞かせください。(福祉の領域以外含む)

- ・人間関係が豊か。他者への関心がある・・・40件
- ・自然が豊か・・・20件
- ・地域のイベントが多く皆が積極的に参加している・・・5件
- ・コミセン、耕心館、郷土資料館、生涯学習団体などが多い・・・3件
- ・郷土愛がある・・・3件
- ・都心までも1時間で行ける・・・3件
- ・役場が親切・・・3件
- ・住民の社会貢献、ボランティア意識が高い・・・3件
- ・治安がよい・・・3件
- ・障害児タイムケ事業があること・・・2件
- ・のんびりしている・・・2件
- ・2世帯、3世帯同居が多い・・・2件
- ・高齢者が元気・・・2件
- ・災害が少ない・・・2件
- ・自己実現の意識が高い・・・1件
- ・町内会が活動している・・・1件
- ・住民の町に対する期待感がある。(批判もある)・・・1件
- ・財政が安定している・・・1件
- ・モノレールが通ればよい・・・1件
- ・お寺が沢山ある・・・1件

- ・ 駅が便利になった。イスがあるのがよい・・・ 1件
- ・ 「みずほ」という名前がよい。ずっと残して欲しい・・・ 1件
- ・ 情報が伝わりやすい・・・ 1件
- ・ 音楽活動が豊か（ブラスバンド他）・・・ 1件
- ・ スポーツが盛ん・・・ 1件
- ・ 図書館の蔵書を充実・・・ 1件
- ・ 町職員のチームワークがよい・・・ 1件
- ・ シクラメン街道がある・・・ 1件
- ・ 60歳以上の人が寿楽に行けることがよい・・・ 1件
- ・ 福祉施設が多い・・・ 1件
- ・ 関係機関のつながりがよい・・・ 1件
- ・ 福祉バスがあること・・・ 1件
- ・ 福祉関係者が皆、親切・・・ 1件
- ・ 教育行政が熱心・・・ 1件
- ・ 配食サービスが他市より質がよい・・・ 1件
- ・ オムツの給付が他市より手厚い・・・ 1件

Q6 最後に瑞穂町社会福祉協議会に期待することや、その他どんなことでも構いませんのでお気づきのことがあればお聞かせください。（福祉の領域以外含む）

- ・ 社協の役割や存在をわからない人が多い・・・ 6件
- ・ ボランティアの活用等、地域に根差した活動をより一層進めて欲しい・・・ 4件
- ・ 社協はフットワークがいい・・・ 3件
- ・ いろいろ頑張っている。期待している・・・ 3件
- ・ 親も含めた、障害児発達支援事業があるとよい・・・ 2件
- ・ 認知症専門のデイが欲しい。若年性のものは特に・・・ 2件
- ・ 移動相談を各地区でやって欲しい・・・ 2件
- ・ 介護家族の集いを定期的にやってほしい・・・ 2件
- ・ 社協から町に提言して欲しい・・・ 2件
- ・ 様々な福祉情報の収集と発信を随時してほしい・・・ 2件
- ・ 介護予防にも力を入れて欲しい・・・ 1件
- ・ 地域包括支援センターとの連携を密にしてほしい・・・ 1件
- ・ 地域のインフォーマルな社会資源を取り込んだダイナミックな活動を展開して欲しい
・・・ 1件
- ・ リーダーシップをとって欲しい・・・ 1件
- ・ 社協の存在は心の支えになっている・・・ 1件

- ・タイムケア事業のHPの「特殊学級」を特別支援学級に変更した方がよい・・・1件
- ・視覚障害者や聴覚障害者の緊急時対応を社協が間に入って確立してほしい・・・1件
- ・災害時の障害者支援は視覚障害者、歩行困難者を優先にすべき。全員は無理がある。
・・・1件
- ・町に話しにくいことを社協では話せる・・・1件
- ・様々な件でいろいろ期待しています・・・1件
- ・町報や社協だよりで住民活動を紹介して欲しい・・・1件
- ・認知症に対するケアが送れている・・・1件
- ・障害児の地域活動の保障・・・1件
- ・生活困窮世帯における障害児の登校支援（ボランティア）・・・1件
- ・高齢者が地域で活動できるきっかけづくりを進めてほしい・・・1件
- ・社協の人脈を使って地域活性化や町事業をサポートしてほしい・・・1件
- ・専門職を増やしてほしい・・・1件
- ・箱根ヶ崎駅で売店・喫茶をやってほしい・・・1件
- ・居宅介護機能を有し、ヘルパーやケアマネ等の業務をしてほしい・・・1件
- ・社会福祉士以外にも専門職の増員してほしい・・・1件
- ・住民にもっとも近い福祉団体として様々なニーズに対応してほしい・・・1件
- ・専門的、困難事例が増えているので社協の職員を増やすべき・・・1件
- ・高齢者や障害者の役場の手続き支援（福祉サービスなど特に）をしてほしい・・・1件
- ・狭い道が多い・・・3件
- ・一時的に金銭に困っている住民に貸付をぜひお願いしたい・・・1件
- ・声を掛け合う町にしてほしい・・・1件
- ・いろいろ応援してくれて助かる（障害者団体）・・・1件
- ・ピアカウンセリングの実施・・・1件
- ・今後も住民によりそった支援をしてほしい・・・1件
- ・地元の医療機関が連携して地域医療を活性化してほしい・・・1件
- ・栗原新田に駅がほしい・・・1件
- ・グループホームの拡充・・・1件
- ・対応困難者にも町は「出来ることをしよう」とする姿勢をみせてほしい・・・1件
- ・身体障がい者が一層いきいきできる場を設けてほしい・・・1件
- ・あまり大きな組織になってほしくない。小回りがきかなくなる・・・1件
- ・気楽に福祉を利用できるようにしてほしい・・・1件
- ・障がい者への相談支援の充実・・・1件
- ・福祉バスの増便・・・1件
- ・福祉バスはお金を払ってもよいので、皆が乗れるバスにしてほしい・・・1件

- ・ホームヘルプサービスを充実させてほしい・・・1件
- ・後見人制度や社協でなくてはできないサービスをもっと周知してほしい・・・1件
- ・ボランティアが増える仕組みができるとうい・・・1件
- ・生活支援コーディネーターをノウハウのある社協にやってほしい・・・1件
- ・職員体制に問題がある。適正な職員数でないといいい仕事はできない。早急に見直す必要がある・・・1件
- ・制度だけでは立ちゆかない。地域住民による扶助が必要。それは社協の使命であると感じる。地域福祉を担う団体として期待している。・・・1件
- ・様々な面で町が豊かになること・・・1件
- ・住民や関係団体、行政をつなぐ連結ピンとしての役割をはたしてほしい・・・1件
- ・住民主体で問題を解決できる仕組みづくり・・・1件
- ・問題があった時に相談場所がわからないという状況を減らしてほしい・・・1件

第5次瑞穂町地域福祉活動計画の策定に伴うアンケート調査結果

対象：地域住民、ボランティア、民生委員・児童委員

- ① 男（33人）・女（39人） 合計 72 人
- ② 20歳代（1人）、30歳代（2人）、40歳代（5人）、50歳代（16人）
60歳代（34人）、70歳代（13人）、不明（1人）

Q2 社会福祉協議会や瑞穂町及び地域包括支援センター等に相談したことや相談しようと思ったこと、もしくは他者から相談された相談ごとをお聞かせください。

- ・介護保険のサービスについて・・・6件
- ・生活困窮者支援について・・・5件
- ・高齢者安否確認・・・4件
- ・地域包括支援センターの名称や役割がわからない・・・3件
- ・高齢者の引きこもりについて・・・2件
- ・子どもからの暴力、暴言について・・・2件
- ・近所の人からの嫌がらせについて・・・2件
- ・障がい者制度について・・・2件
- ・認知症のケアについて・・・2件
- ・障がい者の通院について・・・1件
- ・障がい者の就労について・・・1件
- ・障害者施設や老人施設への入所が困難なことについて・・・1件
- ・能力低下後の生活不安について・・・1件
- ・ボランティア活動への参加について・・・1件
- ・介護になる前に行政に相談したい・・・1件
- ・高額医療費制度の不満・・・1件
- ・親の介護について・・・1件
- ・ボランティアが気持ちよくやってくれなかった。お金をはらった方がまし。ボランティアの教育を行っているのか・・・1件
- ・支援拒否者への対応について・・・1件
- ・障がいや認知症の方が安心して外食できる場所がほしい・・・1件
- ・子育てのストレスで子どもに手を上げてしまう・・・1件
- ・雪害で近隣の車庫が壊れたまま放置しており危険・・・1件
- ・残堀川をきれいにしてほしい・・・1件

- ・町内会に入りたいが、年齢や体力的に役員には対応できず入れない・・・1件
- ・不審者について・・・1件
- ・法律的な相談を行った・・・1件
- ・福祉バスのコミュニティバス化・・・1件
- ・介護保険の手続きが煩わしい・・・1件
- ・法に触れない個人間のトラブル・・・1件
- ・障がい者の公共施設無料化（最近有料になった）・・・1件

Q3 制度では解決できない相談ごとや困難に感じた相談ごとはありますか？

ご自身のことだけではなく、地域内で起きている相談ごともお聞かせください。

- ・福祉バスをコミュニティバスへ・・・4件
- ・町内会の存続（未加入者増や高齢世帯が脱退する問題）・・・3件
- ・制度の使い勝手が悪い・・・3件
- ・高齢者や障がい者の安否確認・・・3件
- ・高齢者一人暮らしや高齢夫婦のみ世帯の増加・・・2件
- ・老々介護について・・・2件
- ・高齢者施設を利用できない（町立の高齢者施設の増設）・・・2件
- ・子どもと高齢者の交流・・・1件
- ・隣の老夫婦の会話がいつも喧嘩で気になる・・・1件
- ・難病指定を受けられない・・・1件
- ・作業所を利用することは一般で働けなく収入がないからなのに、利用料を支払うというのは疑問である・・・1件
- ・パチンコや酒に走るさみしい人がぶらりと行けて話を聞いてくれる居場所・・・1件
- ・認知症カフェが欲しい・・・1件
- ・隣近所とのトラブル・・・1件
- ・子供会、町内会の存続・・・1件
- ・親切がおせっかいと思いつつ、やめることもできない・・・1件
- ・高齢を理由に町内会、自治会を役が回りそうになると辞める相談が多くなる・・・1件
- ・介護家族のケアも大事・・・1件
- ・高齢化に伴い、地域で支え合うための組織づくりが早急に求められる・・・1件
- ・グループホームから町内会入会の相談があった。自主防災という面でも重要だと思った・・・1件
- ・介護保険の住宅改修を例がないと断られた。町の対応が残念だった・・・1件
- ・困っている人ほど困っていると言えず、一人で抱え込む傾向にあると思う・・・1件
- ・軽度認知症者の働く場を考えてほしい・・・1件

- ・災害時支援は高齢、障がい者の要援護者は二番目で、まずは自分の身の安全・・・1件
- ・生活困窮について・・・1件
- ・夫婦間の問題・・・1件
- ・介護保険非該当時の支援・・・1件
- ・家族や親族の支援拒否・・・1件
- ・老々介護の増加・・・1件
- ・福祉業界の人手不足、福祉に関心を持つ人が少ない・・・1件
- ・母子家庭への支援が行き届いていない・・・1件
- ・子育ての悩みを気軽に話せる場づくりについて（子育てサロンなど）・・・1件
- ・若者の居住が増える取り組み・・・1件
- ・年金暮らしの不安・・・1件
- ・町内に総合病院がない・・・1件
- ・青梅街道が狭くて危険。石畑上駐在前の信号が事故多く危険・・・1件
- ・裏道に車がいっぱい入り危ない・・・1件

Q 4 福祉機関・団体、保健・医療機関などのネットワークづくりや住民同士の支えあい（横のつながりや協力体制）を進めるためには何が必要か、具体的な方法等についてご意見をお聞かせ下さい。

- ・町が縦割りを取り払い会議やイベントの共有、情報の共有、目的と方法を明確に持って住民、団体を巻き込んだ活動をする・・・14件
- ・個人情報に神経質になりすぎている（活動の妨げになることがある）・・・6件
- ・サロンや集会所などでお茶飲みできたらいい。互いに見守りができたらいい・・・4件
- ・町内会の活性化・・・3件
- ・それぞれの機関の定期的な集まり、顔の見える関係づくり・・・3件
- ・町内会正副会長以外に、専門知識を持った行政職員を地域に配置すること・・・1件
- ・町内会の活性化・・・1件
- ・町広報に住民活動をもっと掲載したらどうか。広報を読まない人が多い・・・1件
- ・保健センターは各種病気に応じた病院の紹介や同病者の会を紹介してほしい・・・1件
- ・寿楽の利用方法を教えてほしい・・・1件
- ・精神疾患は誰でもなりまた回復もできることを福祉教育に入れてほしい・・・1件
- ・ボランティアと機関をつなぐコーディネーターの重要性・・・1件
- ・町内会を10世帯くらいに分け、少ない人数で協力体制を築く必要がある・・・1件
- ・町内耳鼻咽喉科がなく、歯科医院が多い・・・1件
- ・リーダー育成、活動拠点確保、協力者確保のPR（PR文書、講演会等）・・・1件
- ・地域包括が大切な仕事をしていることと、ふれあい隊という見守り活動があることは初

- めて知った。これらはメディアなどで広報が必要・・・1件
- ・町民による福祉体験発表会を行う・・・1件
- ・高齢化に向け地域単位での仕組みづくりが必要・・・1件
- ・「なんでも相談お話を聞かせて！！」なんて言葉があると気楽に相談できる・・・1件
- ・町や社協に相談があったらコミセンなどで民生委員が対応してもいいと思う・・・1件
- ・各町内にたまり場、何でも相談の場としてミニ包括を作してほしい・・・1件
- ・福祉、保健の経験者のかかわりに期待・・・1件
- ・町から制度等の説明が不足していた・・・1件
- ・介護をしていると余裕がないので、丁寧に対応してもらいたい・・・1件
- ・気の合う仲間のサークル活動などを進め、孤立化を防ぐ必要がある・・・1件
- ・各機関が共有できるサイトを立ち上げる・・・1件
- ・一人一人の困っている相談に乗る・・・1件

Q5 あなたが感じている瑞穂町のよいところをお聞かせください。(福祉の領域以外含む)

- ・自然が豊か・・・25件
- ・人間関係が豊か。他者への関心がある。・・・9件
- ・福祉活動に力を入れている・・・3件
- ・地域行事がある・・・3件
- ・大きな災害がない・・・3件
- ・公園やスポーツ広場が各地域にはあり、人が集まりやすい環境である・・・2件
- ・小規模の自治体のため、住民が主体になる場面が用意されている・・・2件
- ・人口規模が大きくもなく、小さくもなくサービスが行き届く範囲にある・・・2件
- ・交通が不便・・・1件
- ・おいしい和菓子屋さんが多い・・・1件
- ・都会から程よく離れていて、よくも悪しきも古い気質が残っているところ・・・1件
- ・歩道が歩きやすい・・・1件
- ・社協の職員は親切・・・1件
- ・教育施設等たくさんある・・・1件
- ・健康に気をつけてボランティアを続けたい・・・1件
- ・子どもが比較的外で遊んでいること・・・1件
- ・町内会の役員は苦勞されていると思う・・・1件
- ・町内会に未加入の人が多し・・・1件
- ・町内会組織が他市町よりしっかりしている・・・1件
- ・合併もせず、小さい町の方が暮らしやすい・・・1件
- ・基地の町でもあり、日米友好の機会がある・・・1件

- ・高齢化対策への努力がある・・・1件
- ・財政が安定している・・・1件
- ・治安がよい・・・1件
- ・町内会が活動している・・・1件
- ・福祉に関わる人が優しく対応している・・・1件
- ・公園の清掃が行き届いている・・・1件
- ・町の街灯が明るい・・・1件
- ・高齢者がいきいきと楽しく生活している・・・1件

Q6 最後に瑞穂町社会福祉協議会に期待することや、その他どんなことでも構いませんのでお気づきのことがあればお聞かせください。(福祉の領域以外含む)

- ・社協はあたたかい、優しい、何でも聞いてくれる、フットワークがいい・・・7件
- ・社協って何をするとところかわかりづらい・・・5件
- ・さらなる社協からの情報発信を・・・3件
- ・高齢化の進展に、町内会は地域としてどう対応すればよいかわからない・・・2件
- ・個人商店が減り不便。空き店舗活用でミニスーパーや、シルバーまちかどで注文販売をしてもよい・・・2件
- ・寿楽やふれあいセンターのような趣味・学習施設を駅前に設置してほしい・・・2件
- ・高齢化、核家族化が進む中、各種団体の連携と協力体制の先導役として期待・・・1件
- ・婚活（社協で）・・・1件
- ・地域の防犯強化（パトロール）・・・1件
- ・新青梅街道の騒音をどうにかしてほしい・・・1件
- ・介護士、看護師不足に対し、退職者の復帰フォローを今から考えるべき・・・1件
- ・記述式のアンケートは難しい・・・1件
- ・様々な面でいろいろ期待している・・・1件
- ・災害時のボランティア情報の発信等・・・1件
- ・ボランティア活動がこれからもできるようにサポートお願いしたい・・・1件
- ・これからも相談、講演会、ボランティア等頑張してほしい・・・1件
- ・社会的弱者が暮らしやすい街はみんなが暮らしやすい街だと思う。できる協力はするの
で頑張してほしい・・・1件
- ・何かの講演会を聴いたとき、事前に社協に相談しておけば、例え障がいの子どもが一人
で残されたとしても、何とかしてくれると聴いたが本当か・・・1件
- ・もっと広い図書館を早く作ってほしい・・・1件
- ・読書の子どもに対する有効性。保健、福祉等の領域で書籍推進委員などを作ってはどう
か・・・1件

- ・駅の貸し出し図書を図書館の廃棄本にしたらどうか・・・1件
- ・社協で障害者の働く場を作ってほしい・・・1件
- ・女性だけの悩み相談をしてほしい・・・1件
- ・町職員の障がい者雇用の幅を広げてほしい・・・1件
- ・作業所から一般就労に向けて取り組んでもらいたい・・・1件
- ・ふれあいセンターにお茶等をしながら地域の人が交流できる場所が欲しい・・・1件
- ・幼児から高齢者の相談窓口になってほしい・・・1件
- ・社協の規模は自治体に準じているのか。スタッフの数や質をいろいろなサービスに参画させられるのではないか・・・1件
- ・子供会、育成会が脆弱になっている昨今、高齢者と子どものふれ合う場面を町内会、自治会に任せず社協がリードし作ればよい・・・1件
- ・福祉バスの有効性、多目的等を住民の声を聴きながら十分検討してほしい・・・1件
- ・ボラセン担当2人では、その活動に限界があると思う・・・1件
- ・ふれあいセンターに入ると皆さんの挨拶が気持ちいい・・・1件
- ・寿楽のデイ利用者から、昼食がおいしくないと聞いた・・・1件
- ・寿楽はあんなに良い施設なので、くつろぐ場だけでなく生きがいづくりの場になったらよいと思う・・・1件
- ・ノーカーデイが必要。歩いて安全な道路づくりは車いす、ベビーカーにも良いことであるし、親子や近所とのコミュニケーションの機会も増える・・・1件
- ・無職の20～40歳代男性が目立つ。就職する気になるための支援・・・1件
- ・40～50歳代女性、無職、独身、病気等で就職できない貧困層への支援・・・1件
- ・社会福祉、社会体育など西多摩で差別化を実現してほしい。合併も必要に応じて意欲的に・・・1件
- ・町内会支援（加入者増）・・・1件
- ・成年後見制度推進・・・1件
- ・社協だよりで行事や案内があるが、その結果報告があると興味を持ちやすい・・・1件
- ・ふれあいセンター2階の喫茶コーナーが閉店したのは残念・・・1件
- ・在宅移送サービスの充実・・・1件
- ・地域力の低下が心配される現在、社協が必要とされることが多くなる・・・1件
- ・サロンの支援がありがたい。より多くの方に来てもらえるPRを・・・1件
- ・箱根ヶ崎駅にコンビニや商店が欲しい・・・1件
- ・若い人が住みたがる町にしてほしい・・・1件
- ・土日の職員不在時の接客について。来客者は受付が社協職員だと思うため、案内プレートなどがあるとよいのでは。（受付はシルバー人材センターより派遣のため）・・・1件
- ・高齢者が進んで参加できるよう、講習会などは各地区で開催してほしい・・・1件

- ・町施策では、観光面が前面に出ているように見えるが、「経済の活性化」と「福祉の充実」が重要ではないか・・・ 1件
- ・福祉については、介護予防策を重点にやって欲しい・・・ 1件

第5次瑞穂町地域福祉活動計画の策定に伴うアンケート調査 配布先一覧

NO	対象団体	対象人数
1	地域住民（ボランティア）	50人
2	民生委員・児童委員（主任児童委員含む）	36人
3	町内会・自治会長	40人
4	瑞穂町福祉部	38人
5	瑞穂町地域包括支援センター	5人
6	西多摩福祉事務所 ケースワーカー	13人
7	町内居宅介護支援事業所（ケアマネージャー）	9カ所
8	町内訪問介護支援事業所（ヘルパー）	5カ所
9	通所介護事業所（デイサービス）	7カ所
10	町内障がい者相談支援事業所	2カ所
11	町内障がい者施設・団体	12カ所
12	特別支援学校、特別支援学級	4カ所
13	病院・医院	9カ所
14	歯科医院	7カ所
15	訪問看護ステーション	3カ所
16	福祉用具販売事業所	2カ所